

観衆うならせた「千代の友鶴」

西川鯉之丞・鯉娘

西川流の人気舞踊家ペア西川鯉之丞・鯉娘が主催する「ふたり華」第15回記念公演（3月28日・市民会館ビレッジホール）に、内田流の主力・内田のり千鶴が客演。常磐津「千代の友鶴」で共演した。「ナゴヤ劇場ジャーナル」の呼びかけで実現したプログラムである。

集客には定評のある鯉之丞・鯉娘だが、今回は従来にも増して多くの来場者に恵まれた。お目当てはもちろん「千代の友鶴」。果たして初顔合わせの三人は会派の違いを乗り越え、寸分の狂いも

舞台批評

愛好者の減少が顕著な古典芸能の世界。とりわけ日本舞踊は高齢化が進み、先行きが懸念されている。「ふたり華」での共演が、何らかの指針になれば、幸いである。



左から鯉娘、鯉之丞、るり千鶴



自作の詩を読むるり

ユニーク一人のパフォーマー登場

YOSEコンサート

毎回4組のミュージシャンが出演する「YOSEコンサート」。その第82回公演（4月4日・芸術劇場リハ・サル室）に、二人のユニークなパフォーマーが登場した。一人は「ダンスカンパニー ジャズコレ」のステージに客演した。



せともの打楽器の詩貴

オンリーワンのソリスト目指せ

（写真提供名古屋二期会）



オペラ研修所修了公演
名古屋二期会オペラ研

修所が修了公演「悲劇の女たち」が（4月2日・東文芸小劇場）を開いた。出演は酒井知沙、杉野加奈、横尾萌、前田ゆうこ、松永萌の5人と賛助の山本治樹と野々山敬之。構成・演出は辻博之、ピアノは重左恵里が務めた。奇抜なタイトルは、オペ

あった。発展させれば面白いものになるだろう。もう一人は瀬戸市を拠点にする打楽器奏者の詩貴（しき）。専門はマリリンバだが、せともの打楽器奏者としても知名度を高めている。

この日は自ら制作した大小27個の器を並べ、4本のマレットを駆使し「亜麻色の髪の乙女」「フクンパルシター」ほかを披露。既存の楽器にはないファンタジックな音色で聴衆を楽しませた。

間奏曲

NHK交響楽団のコンサートマスターを長く務めた「マロさん」こと篠崎史紀さんの話を、若手演奏家を育成する「スタークラシックアカデミア」の講座で聞いた。彼の話しは度々聞いても有意義で面白い。その要点を紹介する。

踏み出す、積み重ねる、が成功の鍵

出す。できることから始め、積み重ねていけばファンも増えていく。「プログラムにストーリーを持たせることが大事。できればシリーズ化する。聴く人をワクワクさせることが必要」。「自分の楽器だけでなく幅広く聴く。音楽に留まらずいろいろな経験

（上原宏）

いくつも発見あった「聴くバレエ」



（撮影・中川幸作）

名フィルの演奏で踊る松浦景子

名フィルこども名曲

名フィルが「第10回こども名曲コンサート」3月20日・市民会館フォレストホールでバレエ音楽を特集した。

プログラムはチャイコフスキーの「白鳥の湖」「くるみ割り人形」、ドリープ「コッペリア」（いずれも抜粋）ほか。指揮

ダンサーと色彩が華やかに調和



「HELLO EARTH!!!」のワンシーン

フォーマンズ（3月15日・アートピアホール）屋の部を鑑賞した。ジャズ・バレエ、キッズ・ヴォイスなど、クラススごとのパフォーマンスと5人の独唱、そしてスペシャルプログラム「HELLO EARTH!!!」が上演された。

名鶴ダンスカンパニー
の「第31回ダンス・パ

今回は作品ごとに簡潔

な解説が付き、ダンサーたちとの距離が縮まった気がした。さて、舞踊公演の楽しみの一つは、若い逸材の発見だ。躍動する姿、笑顔、発散されるオーラ。彼ら、彼女らに求めるのは「継続」である。

ているのか、バレエを見ている時には気付かなかった「発見」がいくつもあった。美しく華やかなバレエ芸術は、優れた演奏家たちの巧みなオーケスト

レーションによって成立しているのである。これからバレエを見る時には、演奏者の顔まで思い浮かぶに違いない（笑）。今回、もう一つ発見があった。松浦景子である。

吉本新喜劇に所属し、バレエと笑いを取り混ぜた「コメディ・バレエ」を展開する異色のタレント。川瀬とのトークも面白かった。彼女を起用した名フィルに拍手！

思い届いた加川文子の選曲と歌唱



（写真提供名古屋二期会）

「私に歌があればこそ」を歌う加川文子（気文化会館）を開催。19人の会員が、それぞれの思いを歌に込めて送った。

前半の10人で際立ったのは「おそすぎないうちに」を歌った手塚淑子と、中絶めに「鳥の歌（オペラ道化師より）」を熱唱した森本ふみ子だ。前者は大切な人への感謝と敬愛をつづった曲。手塚は明瞭な口舌と情感のこもった歌

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6600円（税込み）。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面に名前を掲載（希望者のみ）。会員の関係する公演、イベント情報を優先的に掲載させていただきます。

【お申し込み、お問い合わせ】
㈱マネージメント・プロ
TEL 052(508)5095
郵便振替口座 00880-6-206130

和光写真/㈱テス・大阪/㈱三光/Hide Dance Lab./㈱ビデオ教材社/松岡伶子バレエ団/エス・エー企画/Office KAN NORIKO BALLET STUDIO/かやの木芸術舞踊学園/春日井市日本舞踊協会/メリー・アーティスト/カンパニー/関山スタジオ 特定非営利活動法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木伊予子/ミュージカルアカデミー-KAO/（一社）復曲能を観る会 フィルハーモニー・ウィーン・名古屋/明珠会 山村菜乃/川島ナナバレエ研究所/スマイル・ミュージカル・アカデミー Rose Ballet Academy/越智インターナショナルバレエ/Rrバレエスタジオ 杉江瑠美/一般社団法人イタリア音楽振興会

たつぷり主役の存在感発揮

大津敦(ファゴット)

セントラル愛知交響楽団のファゴット、大津敦のリサイタルが3月24日・HITOMIホール。オーケストラでは協役だが、確かな主役の存在感を発揮した。

明確でダイナミックな音が特長

飯田真未(ピアノ)

初めて聴く「飯田真未ピアノリサイタル」(3月25日・電気文化会館)。会場に元気の音が響いた。



大津敦ファゴットリサイタル



飯田真未ピアノリサイタル



中川祥治リユートリサイタル

素振りには全く見せないのは見事。

チェロとファゴットは音域がほぼ同じ。ペー・トウエン「チェロソナタ」の多様性を追求した。

初めて聴く「飯田真未ピアノリサイタル」(3月25日・電気文化会館)。

明和、桐朋大からモスクワ音楽院で6年学んだとあって、その姿も演奏も頼もしい。「ロシアからの風」と題し全曲口

タ第3番」でも、落ち着いた深みのある音色で、共通点を感じた。

ドヴォルザーク「母の教え給いし歌」など歌曲にも挑戦。ファゴットの多様性を追求した。

随所に楽器の魅力伝える工夫

中川祥治(リユート)

中川祥治リユートリサイタル(4月4日・HITOMIホール)は、自作曲で楽器の魅力を再認識させた。

リユートはバロック時代の中心的楽器。単調で豊かな響きではないが、

きりした「絵」を表現した。「ロシアからの風」は変化したとん

う快感のある音は気持ちよく聴ける。課題はあるが楽しみな人だ。

アコースティックで素朴さが魅力だ。今回は大型で音域の広いアーチリユートを使った。

バロック的で荘重な感じのザンボニ「ソナタ第9番」もあったがほとんどは自作のオリジナル作品。バロック調の「ファンタジアとメヌエット」から、今風な「夏のうた」など、リユートの魅力を伝える工夫が感じられた。

ソプラノ増野友香との「通りゃんせ」に「叱られて」や、バロックヴァイオリン磯部真弓と3人の「パライオのボサノヴァ」は華やか。締めめの「夜間飛行」は情緒があり、大いに楽しめた。

ソプラノ増野友香との「通りゃんせ」に「叱られて」や、バロックヴァイオリン磯部真弓と3人の「パライオのボサノヴァ」は華やか。締めめの「夜間飛行」は情緒があり、大いに楽しめた。

OKAYA Charity Concert 2026
チャリティーコンサート
～感謝の夕べ～
2026.7.16(土) 18:45開演
愛知芸術劇場コンサートホール

愛知大オーケストラ・フェスティバル2026
チャイコフスキー交響曲演奏会
山下 史 川瀬 賢 藤岡 幸夫 角田 剛亮
2026.9.5(土) 愛知芸術劇場コンサートホール

SLOVAK PHILHARMONIC ORCHESTRA
スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団
名古屋公演

スラヴの至宝！
東ヨーロッパの名門、
伝統の響き！

シュベルト：
交響曲第7番 口短調
D.759「未完成」
スメタナ：
交響詩「我が祖国」より「モルダウ」
ドヴォルジャーク：
交響曲第9番 ホ短調
op.95「新世界より」

スロヴァキア・フィル首席指揮者
オーケストラビルダーとしても活躍する
次世代の巨匠
ダニエル・ライスキ(指揮)

2026年 **6/27** (土) 14:00開演 (13:15開場)
愛知県芸術劇場 コンサートホール

主催：テレビ愛知、クラシック名古屋、コンサートイマジ
後援：駐日スロヴァキア共和国大使館
日本チェコ協会/日本スロバキア協会

全席指定・税込 **SY13,000 / AY10,000 / BY8,000**
チケット 一般発売 2026年2/6(金) 10:00～

●アイ・チケット 0570-00-5310 ●アイ・チケット 検索
●チケットぴあ <https://pia.jp/> ●ローソンチケット <https://l-like.com/>
●イープラス <https://eplus.jp/> ●芸文プレイガイド 052-972-0430
●楽プレチケ 052-953-0777

お問合せ **クラシック名古屋 052-678-5310**

新日本フィルハーモニー交響楽団
ヴァイオリン 三浦文彰
ブラームス最高傑作

佐渡裕 指揮
ブラームス
ヴァイオリン協奏曲 二編 Op.77
交響曲第1番 ハ短調 Op.68

2026年 **6.4** (土) 18:45開演 (18:00開場)
愛知県芸術劇場コンサートホール

全席指定・税込 **S¥14,000 / A¥11,000 / B¥8,000 / U25 2,000**
052-951-9104 (18:00～17:00)
052-308-4847 (17:15～15:00/15:00/15:00/15:00) 052-678-5310

プレイガイド
クラシック名古屋 052-678-5310
アイ・チケット 0570-00-5310
チケットぴあ 052-951-9104
イープラス 052-951-9104
芸文プレイガイド 052-972-0430
楽プレチケ 052-953-0777

SEKISUI HEIM presents
タルモ・ペルトコスキ指揮
トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団
ピアノ 辻井伸行

辻井伸行、欧米を席巻する新進気鋭の指揮者と衝撃の共演！
ペルトコスキ×辻井伸行
ラフマニノフ
ピアノ協奏曲第2番
[ピアノ：辻井伸行]

2026年 **6/11** (木) 18:45開演 (18:00開場)
愛知県芸術劇場コンサートホール

全席指定・税込 **S¥28,000 / A¥23,000 / B¥18,000 / C¥13,000 / U25 3,000**
052-951-9104 (平日10:00～17:00)
052-308-4847 (17:15～15:00/15:00/15:00/15:00) 052-678-5310

プレイガイド
クラシック名古屋 052-678-5310
アイ・チケット 0570-00-5310
チケットぴあ 052-951-9104
イープラス 052-951-9104
芸文プレイガイド 052-972-0430
楽プレチケ 052-953-0777

感謝を込めて、新たな未来へ。
魂に響き、感動を呼び起こす至高の歌声
野々村彩乃
ソプラノリサイタル
— デビュー10年の想いをあなたに —

PROGRAM
ジュゼッペ・愛しい人よ - Caro mio ben -
モーツァルト：セレナータ
ドビュッシー：理想のひと
シューマン：歌曲集《愛と生涯》Op.42
平井康三郎：しぐれに寄する抒情
高田三郎：くちなし
中田喜直：さくら横ちよ
プッチーニ：ある晴れた日に (歌劇《蝶々夫人》より)
プッチーニ：歌に生き、恋に生き (歌劇《オセーラ》より)
マスカーニ：わずかな花を (歌劇《友人ブルグ》より)
ロシニー：今の歌声は (歌劇《セヴィリアの理髪師》より)

ピアノ 吉田幸央
Sachia Yoshida

2026年 **6.27** (土) 14:00開演 (13:30開場)
ザンボニ・コンサートホール 名古屋・電気文化会館
全山席・税込 4,000円

プレイガイド
アイ・チケット 0570-00-5310
芸文プレイガイド 052-972-0430
楽プレチケ 052-953-0777
クラシック名古屋 052-678-5310 芸文プレイガイド 052-972-0430 楽プレチケ 052-953-0777

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ

クラシック名古屋
052-678-5310

金山総合駅
南口より徒歩3分

名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F



クラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(11:00～16:00 ※土日祝休)

アイ・チケット 検索

お好きな時間にお好きな席を選んでクリック♪

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことまでオペレーターが丁寧にサポートいたします。ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。